

画像処理検査用 近赤外照明「TH-CIR」を発売

～ランプが光源でありながら長寿命を実現、パッケージ内などの異物検査に最適～

画像処理検査用 LED 照明メーカーのシーシーエス株式会社（本社：京都市上京区 代表取締役社長 大西浩之以下、シーシーエス）は、画像処理検査用近赤外照明「TH-CIR」を2018年1月15日に発売いたします。

本製品は、可視光域から近赤外（2,500nm 付近）まで幅広い波長域をもった照明です。

本製品で照射した検査対象物を、近赤外 InGaAs カメラ※で撮像すると、検査対象物が近赤外領域の波長を透過・吸収・反射する度合いによって濃淡が撮像できることから、食品製造工程などにおいて、これまでは検査が難しかったパッケージ内の異物検査や欠品検査に有効です。

※ 近赤外 InGaAs カメラは、InGaAs（インジウム・ガリウム・ヒ素）センサーを搭載しており、近赤外線に感度を持つカメラです。

■ 近赤外照明「TH-CIR」概要

近赤外線は、照射対象によって、ある特定の波長においては光エネルギーが吸収され、それ以外は光エネルギーを透過・反射する度合いが可視光とは異なるため、可視光照射ではできない撮像が可能です。その特性を利用して、近年では三品業界（食品・医薬品・化粧品）などの非破壊・非接触検査をはじめ様々な分野への応用が期待されています。

過去、1,700nm 付近までの波長に感度をもつ産業用カメラは各メーカーから発売されていましたが、直近で 2,500nm 付近の波長に感度を持つ産業用カメラが出てきたことで、近赤外波長の検査用照明へのニーズが拡大しています。

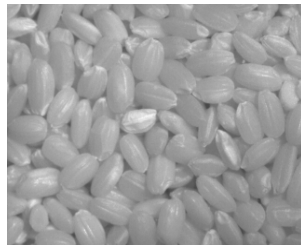
これに対しシーシーエスは、可視光域の 400nm から近赤外線の 2,500nm 付近まで幅広い波長域を持ったランプを光源とした検査用照明「TH-CIR」を開発しました。本製品は独自の光学設計により、検査対象物に照射される熱を抑制した構造としており、インラインでの検査用途に適しています。また、従来のランプと比較して長寿命を実現した特殊なランプを使用しており、長時間ラインを稼働させる製造現場でもお使いいただけます。

本製品は、バー型、集光型、面発光型など、さまざまな形状の照明設計が可能であり、お客様の検査対象物や検査環境に応じて最適な照明をカスタム対応いたします。

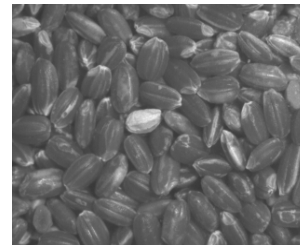
■ 近赤外照明「TH-CIR シリーズ」の撮像例

・穀物の異物混入検査

可視光 LED 照明で撮像



近赤外照明で撮像

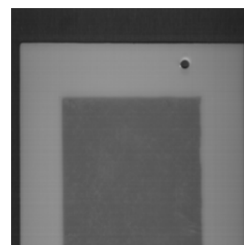


・フィルム内の内容物有無検査

可視光 LED 照明で撮像



近赤外照明で撮像



■ 製品概要「TH-CIR」

型式名	TH-200X30CIR
消費電力	46W max.
筐体寸法	幅 215mm 奥行き 71mm 高さ 42.5mm
質量 (max.)	720 g
価格	オープン価格
発売日	2018年1月19日(金)



製品写真

〈本製品に関するお問合せ先〉

本社 国内営業部門 TEL : 075-415-8277 FAX : 075-415-8278

■ 本件に関するお問い合わせ ■

シーシーエス株式会社 <http://www.ccs-inc.co.jp>

国内営業部門 販売促進課 秋元

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町 374

TEL : 075-415-8277 FAX : 075-415-8278

E-mail : koho@ccs-inc.co.jp